

# パーツフィーダ コントローラ

## 取扱説明書

### [ PC-MHL ]

この度は、パーツフィーダ コントローラ PC-MHLをお買い上げ頂き、有難うございます。正しくご使用頂くために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。

## 1. 安全上のご注意

- ◇ 不測の事故を回避するために！  
設置・運転・保守等の作業をする時はこの「取扱説明書」を繰り返し熟読してから、作業を行って下さい。
- ◇ パーツフィーダとその周辺機器は、高度の技術を利用して作製されています。保守・調整は、責任者を選任し、作業は取扱責任者の監督のもとに行ってください。
- ◇ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫程度を明示するため、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

<b>△ 警告</b>	誤った取扱いをした時に死亡、または、重傷を負う可能性があるもの
<b>△ 注意</b>	誤った取扱いをした時に使用者が傷害を負う、または、物的損害の可能性のあるもの

### △ 警告

- 感電事故を避けるために下記の項目をお守り下さい。
  1. 水や油が入ったり、濡らしたりしないように注意して下さい。
  2. 高温多湿(噴霧状態含む)の環境で使用しないで下さい。
  3. 配線作業時は、必ず電源を切ってから実施して下さい。
  4. アース線は必ず接続して下さい。
- 爆発性の雰囲気(揮発性有機溶剤等を使用している場所)で使用すると、火災や爆発事故を引き起こす恐れがあります。  
(なお、本製品は防爆仕様ではありません)

### △ 注意

- ・各端子に配線工事をする際、またはコントローラ取付け後にパネル部分を取り外す場合は、POWER(S1)をOFFにするだけでなく、元電源を切ってから実施して下さい。感電事故の原因となります。
- ・入力電源を頻繁にON-OFFしないで下さい。基板破損の原因となります。パーツフィーダ等を一時的に停止する場合には、必ず端子番号6, 7, 8をご使用下さい。(「4. 接続方法」参照)
- ・放熱効果を保つため、本機コントローラは必ず縦方向に取付けて下さい。また、本機コントローラの上部は50mm以上、左右は5mm以上の空間スペースをあけて取付けて下さい。破損ややけどの原因となります。
- ・本機は電子機器につき、絶縁耐圧テスト及びメガリングテストは行わないで下さい。破損の原因となります。
- ・パーツフィーダには、全波仕様や半波仕様等があります。仕様に合応じて「全波/半波切替スイッチ」を切替えて下さい。適した電源周波数に切り替えずに運転を続けると、異常振動や部品破損の原因となります。
- ・振動機の電磁石とコントローラを接続した状態で、ボウル、トラフ、シュートの溶接加工は絶対に行わないで下さい。溶接のリーク電流が流れ、コントローラの破損の原因となります。
- ・コントローラを運搬する場合は、コントローラ本体又はコントローラ取付けベースやブラケットを持って下さい。電線コードを持ち上げて運搬すると、破損の原因となります。
- ・入力側及び出力側の短絡(ショート)は絶対に行わないで下さい。コントローラ破損の原因となります。
- ・弊社にご連絡を頂けず、改造、または分解が行われた製品については、保証しかねますのでご了承ください。
- ・製品の耐用寿命・保証(期間)については、実働諸条件によって異なるため、当方として算定しかねますので、ご了承下さい。

## 2. 装置概要・仕様

### 【装置概要】

本機は、ホッパ専用の電磁式振動機専用のコントローラで、弊社製のホッパに適応します。  
また、本機はPC-MHSの増設用として対応するための機種です。このため、PC-MHSとPC-MHLを組み合わせでご使用下さい。

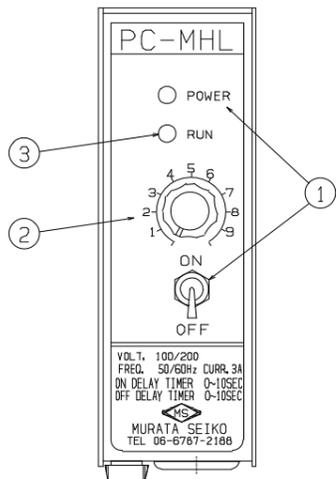
### 【仕様】

型 式	PC-MHL	
電 源	電 圧	AC100/200V
	周波数	50/60Hz
出 力	駆動方式	トライアック出力
	電 圧	入力電圧と同じ
	周波数	入力周波数と同じ
	対象振動機	半波駆動(RC) 全波駆動(AC) (内部スイッチにて切替)
最大電流		4A MAX
	外部制御	DC12Vにて使用できる光電スイッチ、近接スイッチ、または、無電圧接点にて制御可。 センサ電源は外部(PC-MHS)より供給(DC12V 100mA)
標準機能	供給オーバー処理機能(オーバーフロー機能)	センサまたは、接点の入力にてオーバーフロー処理ができます。 PF.ON タイマ(最大10秒) PF.OFF タイマ(最大10秒)
	出力信号	INF-30にて動作中信号または、停止中信号がリレー接点にて取り出せます。(端子番号: a1, b1, C1 )
その他	使用周囲温度	0~40℃
	使用周囲湿度	10~90%RH(結露なきこと)
	塗装色	マンセル記号 N-3.0 メタリックシルバー
	適用機種(弊社参考型式)	補助ホッパ HP-T型、HP型、HLF型 ※ホッパ専用

## 3. 各部名称・寸法

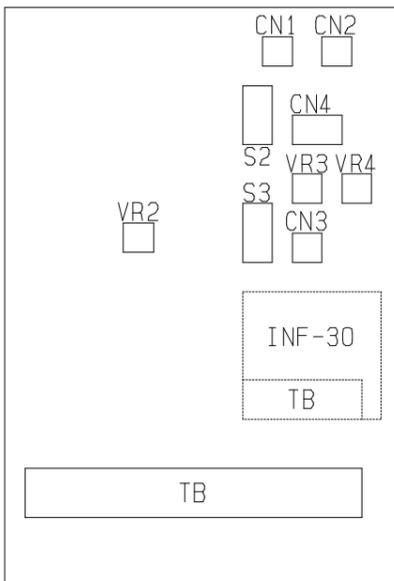
### 【各部名称】

#### <正面図>



- ① POWER(S1)  
電源スイッチをON側にすると電源が入り点灯します。
- ② RUN(メインボリューム)  
ワークの移動速度を設定するボリュームです。(出力電圧調整)これを時計回りに回すと電圧が高くなります。
- ③ RUN  
振動機が運転中の時は点灯し、停止すると消灯します。

#### <部品配置図>



- S2  
出力周波数を指定するスイッチです。  
○ 側 全波仕様  
△ 側 半波仕様
- S3  
N.INV(L.ON) - INV(D.ON)  
接続センサの動作方式により切替設定
- VR2(サブボリューム)  
最小振幅を設定するボリュームです。時計回りに回すことで、振幅は増大します。但し、最大に設定するとVR1が利かなくなりますのでご注意ください。  
※出荷時調整済みのため、基本的に調整不要です。
- VR3  
PF・OFFタイマ  
PFが停止するまでの時間設定ができます。(最大10秒)
- VR4  
PF・ONタイマ  
PFが起動するまでの時間設定ができます。(最大10秒)
- CN1, CN2  
外部供給電源用コネクタ  
センサ電源(DC電源)供給が必要な場合に使用します。(接続方法は「4. 接続方法」をご参照下さい)
- CN3  
INF-30基板接続コネクタ(オプション)
- CN4  
外部停止信号(無電圧接点)接続コネクタ  
外部停止信号にて制御する場合に使用します。(接続方法は「4. 接続方法」をご参照下さい)

### 【寸法】

#### <コントローラ外観>

